

第1回 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

日時：令和3年9月30日（木） 14時00分～16時00分

場所：三宮研修センター 7階 705号室

次 第

1. 開 会
2. 確認事項
 - (1) 委員の紹介
 - (2) 検討会開催要綱について
3. 議 事
 - (1) 検討会の進め方
 - (2) 六甲山・摩耶山を取り巻く環境
 - (3) 六甲山・摩耶山の交通の現状
 - (4) 公共交通に関する最新の動向
 - (5) 六甲山・摩耶山の交通のあり方の方向性
4. 閉 会

【配布資料】

資料1：委員名簿（出席者名簿）

資料2：座席表

資料3：六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会開催要綱

資料4：神戸市有識者会議傍聴要綱

資料5：六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会 委員名簿

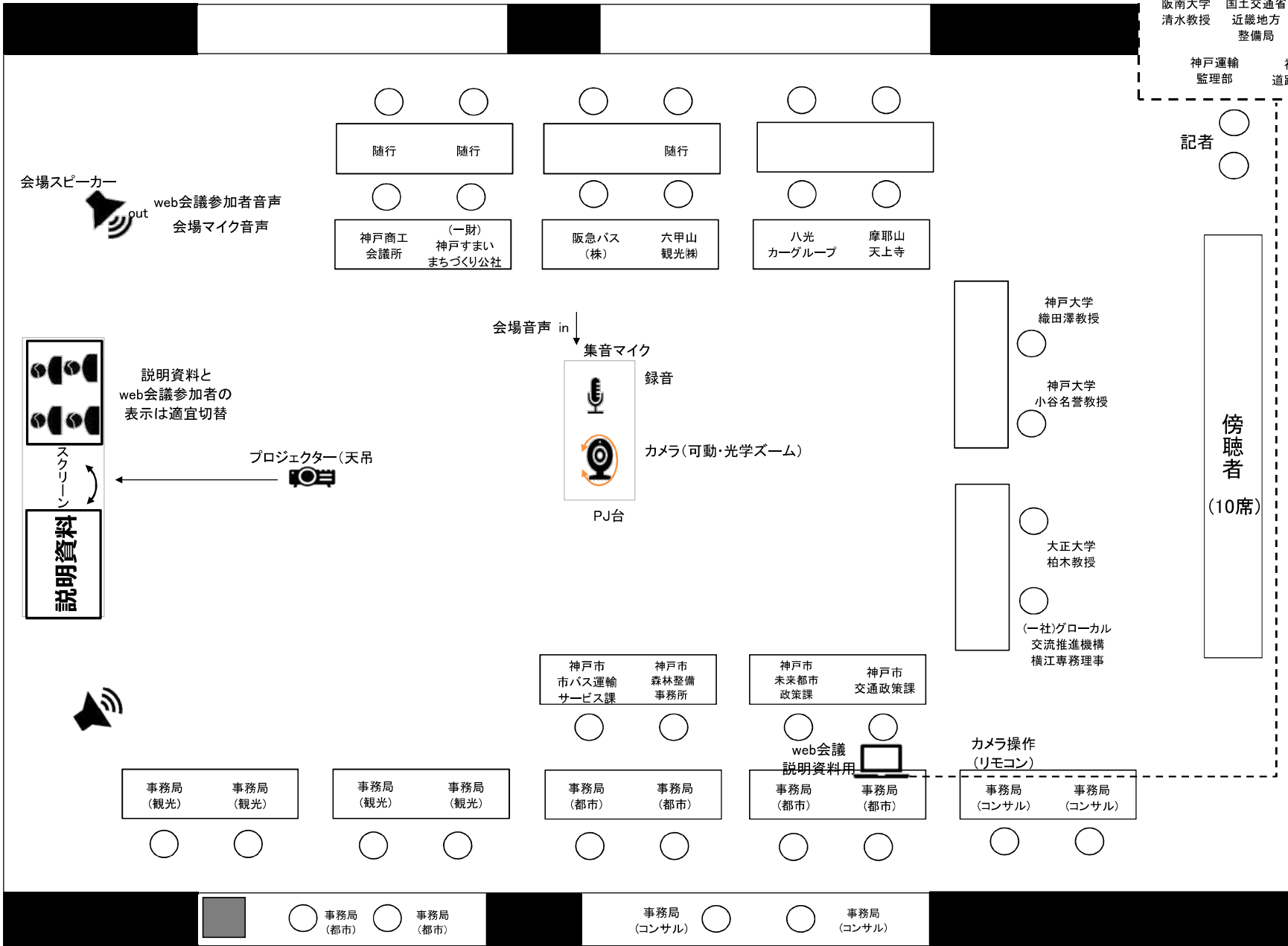
有識者	
神戸大学 名誉教授	小谷 通泰
神戸大学大学院工学研究科 教授	織田澤 利守
大正大学 社会共生学部 公共政策学科 教授	柏木 千春
阪南大学 国際観光学部 国際観光学科 教授	清水 苗穂子
一般社団法人 グローカル交流推進機構 専務理事	横江 友則
山上事業者	
摩耶山天上寺/摩耶山観光文化協会 副貫主	伊藤 浄真
八光カーグループ 会長	池田 淳八
六甲山観光株式会社/六甲摩耶観光推進協議会 代表取締役社長	宮西 幸治
阪急バス株式会社 自動車事業本部 営業企画部長	野澤 俊博
一般財団法人 神戸すまいまちづくり公社 企画課長	藤田 修司
経済界	
神戸商工会議所 常務理事	津田 佳久
関係行政機関	
国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課長	大塚 賢太
国土交通省 近畿運輸局 交通政策部 交通企画課長	片田 一真
国土交通省 神戸運輸監理部 総務企画部 企画調整官	川又 淑史
神戸市 企画調整局 交通政策課長	原田 穫嗣
神戸市 企画調整局 未来都市政策課長	樋野 創
神戸市 建設局 道路計画課長	清水 陽
神戸市 建設局 公園部 森林整備事務所長	栗山 明久
神戸市 交通局 自動車部 市バス運輸サービス課長	安藤 義治

令和3年9月30日(木)
第1回 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会 座席表 (三宮研修センター)

web会議参加者

阪南大学 清水教授
国土交通省 近畿地方整備局
国土交通省 近畿運輸局

神戸運輸 監理部
神戸市 道路計画課



記者

傍聴者 (10席)

記者・傍聴者受付

委員受付

出入口

事務局 (観光) 事務局 (観光)

事務局 (観光) 事務局 (観光)

事務局 (都市) 事務局 (都市)

事務局 (都市) 事務局 (都市)

事務局 (コンサル) 事務局 (コンサル)

事務局 (都市) 事務局 (都市)

事務局 (コンサル) 事務局 (コンサル)

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会開催要綱

令和 3 年 9 月 10 日

都市局長・経済観光局長 決定

(趣旨)

第 1 条 六甲山・摩耶山の活性化に向けた交通の将来像やその実現に向けた取組内容について、専門的な見地から幅広く意見を求めることを目的として、六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会（以下「検討会」という。）を開催する。

(委員)

第 2 条 検討会に参加する委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
 - (2) 公共交通事業者等の代表者等
 - (3) 各種団体の代表者等
 - (4) 関係行政機関の職員
 - (5) 市職員
 - (6) 前 5 号に掲げる者のほか、市長が特に必要があると認める者
- 2 特別の事項について意見を聴取するため必要があるときは、臨時委員を置くことができる。
- 3 前項の規定により委嘱し、又は任命する委員の人数は、20 名以内とする。

(任期)

第 3 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(会長の指名等)

第 4 条 都市局長及び経済観光局長は、委員の中から会長を指名する。

- 2 会長は、会の進行をつかさどる。
- 3 都市局長及び経済観光局長は、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、前項の職務を代行する者を指名する。

(検討会の公開)

第 5 条 検討会は、これを公開とする。ただし、次のいずれかに該当する場合で、都市局長及び経済観光局長が公開しないと決めたときは、この限りでない。

- (1) 神戸市情報公開条例（平成 13 年神戸市条例第 29 号）第 10 条各号に該当すると認められる情報について意見交換を行う場合
 - (2) 検討会を公開することにより、公正かつ円滑な進行が著しく損なわれると認められる場合
- 2 検討会の傍聴については、神戸市有識者会議傍聴要綱（平成 25 年 3 月 27 日市長決定）を適用する。ただし、一般席の傍聴人の定員は 10 名とし、先着順により傍聴人を決定する。

(施行細目の委任)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、検討会の開催に必要な事項は、都市局長及び経済観光局長が定める。

(庶務)

第 7 条 協議会の庶務は、都市局及び経済観光局において処理する。

附 則（令和 3 年 9 月 10 日決裁）

(施行期日)

1 この要綱は、令和3年9月10日より施行する。

(要綱の失効)

2 この要綱は、令和5年9月30日限り、その効力を失う。

神戸市有識者会議傍聴要綱

〔平成 25 年 3 月 27 日〕
市 長 決 定

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、別に定めがあるものを除くほか、本市が行政運営上の参考とするため、有識者や市民代表等の参集を求め、個々の委員の意見を聴取し、又は意見を交換するために開催する会議であって、同一名称のもとに、同一者に、複数回、継続して参集を求めることを予定しているもの（以下「有識者会議」という。）のうち、公開する会議の傍聴等に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴席の区分)

第 2 条 会場に傍聴席を設けるものとし、傍聴席は、一般席及び記者席に分ける。

(傍聴の手続)

第 3 条 会議を傍聴しようとする者は、傍聴章の交付を受け、着用しなければならない。

(傍聴章)

第 4 条 傍聴章は、会議当日所定の時間及び場所で、傍聴受付票に氏名及び連絡先を記入することにより交付する。

2 傍聴章の交付方法は、有識者会議を所管する局室区（以下「局室区」という。）において定める。

3 傍聴章の交付を受けた者は、交付を受けた日に限り、一般席で傍聴することができる。

(傍聴章の返還)

第 5 条 傍聴章の交付を受けた者は、傍聴を終え、退場しようとするときは返還しなければならない。

(傍聴人の定員)

第 6 条 一般席の傍聴人の定員は、局室区において定める。

(傍聴席に入ることができない者)

第 7 条 次に該当する者は、傍聴席に入ることができない。

- (1) 会議の妨害となると認められる器物等を携帯している者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、会議を妨害し、又は人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるものを持っている者

(傍聴人の守るべき事項)

第 8 条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、次の事項を守らなければならない。

- (1) 会議における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- (2) 騒ぎ立てないこと。
- (3) 飲食又は喫煙を行わないこと。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、会議の秩序を乱し、又は妨害となるような行為をしないこと。

(撮影及び録音等の禁止)

第 9 条 傍聴人は、傍聴席において写真、映画等を撮影し、又は録音等をしてはならない。ただし、局室区の許可を得た者は、この限りではない。

(傍聴人の退場)

第10条 傍聴人は、会議を非公開とする決定があったときは、速やかに退場しなければならない。

(係員の指示)

第11条 傍聴人は、すべて係員の指示に従わなければならない。

(違反に対する措置)

第12条 傍聴人がこの要綱に違反するときは、有識者会議の会長その他会議の進行をつかさどる者は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

(会議の視聴)

第13条 インターネットを通じて映像と音声の送受信により相手の状態を相互に認識しながら通話をすることができる方法により会議を行う場合における会議の視聴については、第2条から第12条までの規定を準用する。この場合、「傍聴」とあるものは「視聴」と読み替えるものとする。

附 則

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。



第1回

六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会

令和3年9月30日

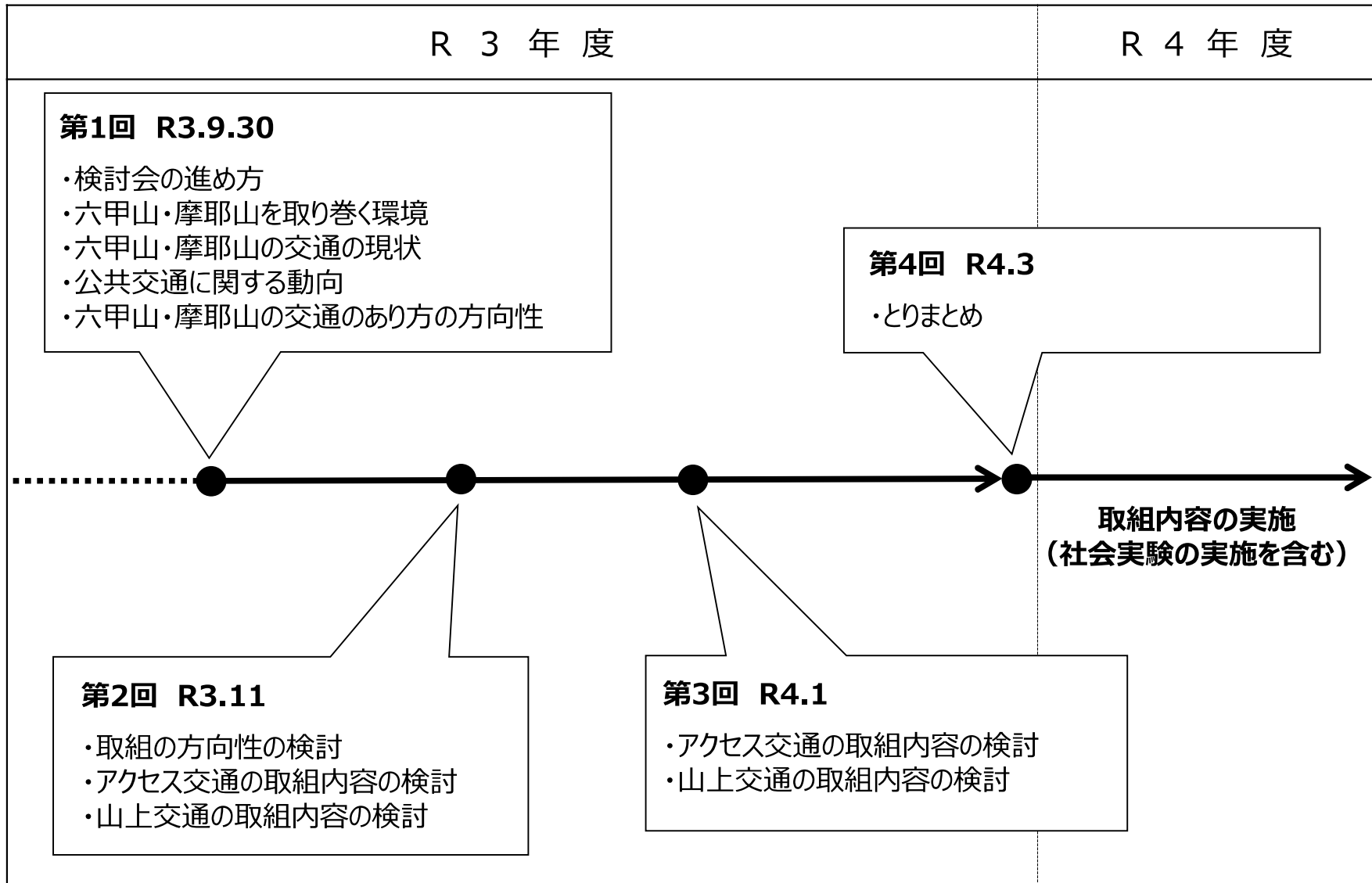
神戸市

1. 検討会の進め方
2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境
3. 六甲山・摩耶山の交通の現状
4. 公共交通に関する動向
5. 六甲山・摩耶山の交通のあり方の方向性

1. 検討会の進め方

1 スケジュール

◇ 六甲山・摩耶山の交通のあり方検討会



2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境

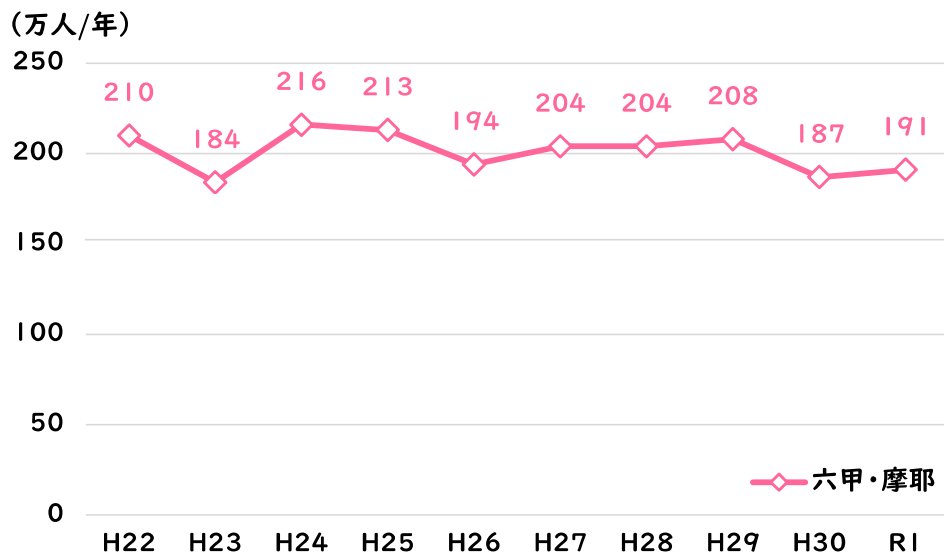
2-1 六甲山・摩耶山の来訪者数

◇ 山上への来訪者数

- ・六甲山・摩耶山への観光入込客数は、200万人/年程度で推移している。
- ・近年（コロナ前）までは、山上施設への来場者数は増加傾向にあり、外国人来訪者数も急増。

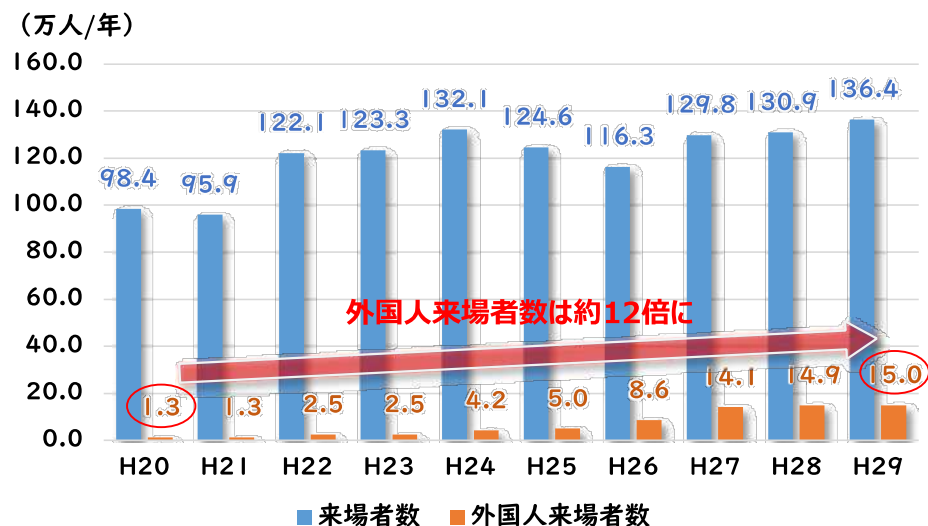
■ 山上への来訪者数

観光入込客数



資料：神戸市観光入込客数

山上施設への来場者数、外国人来場者数*



資料：神戸市地域公共交通網形成計画

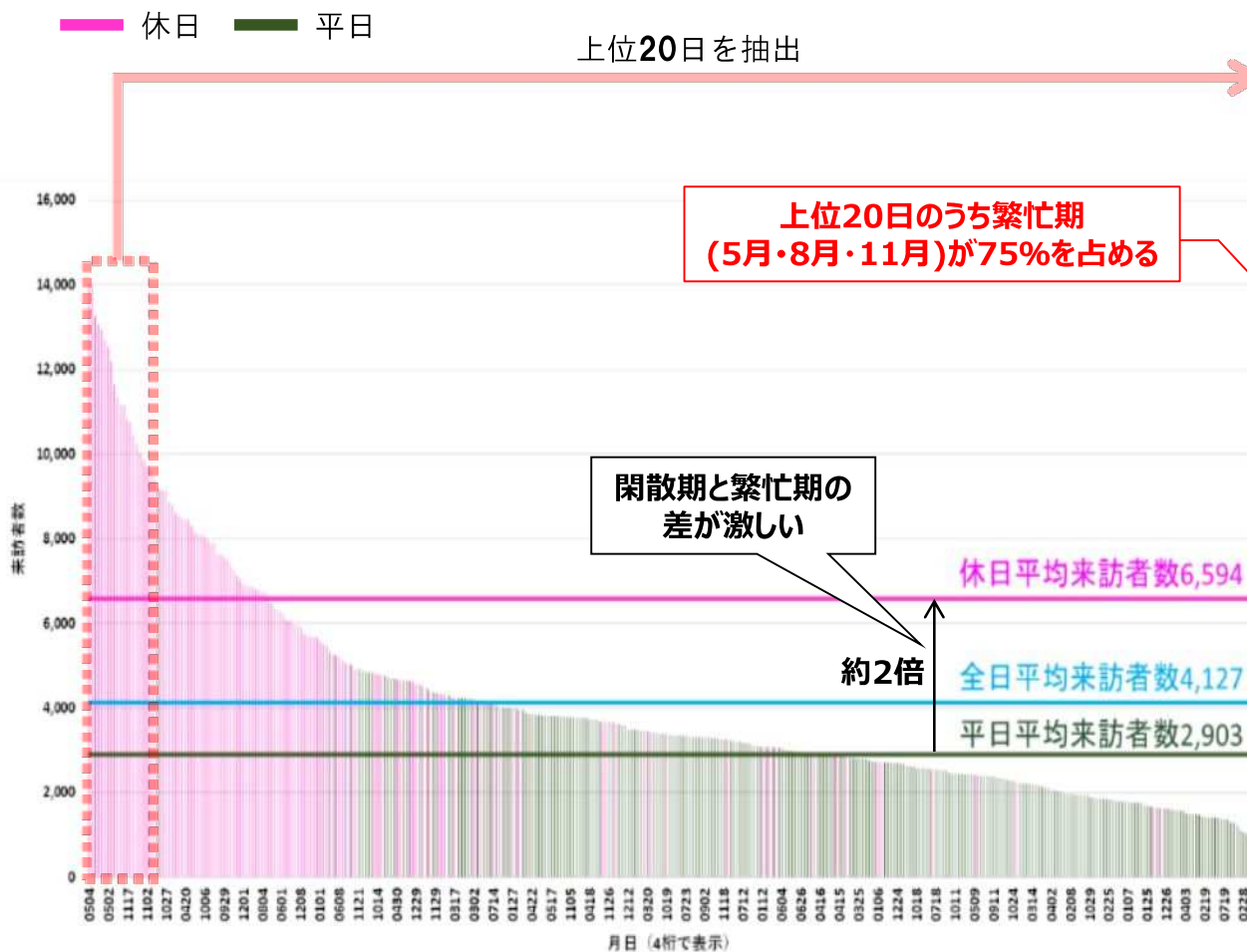
※対象：六甲ガーデンテラス、六甲山カンツリーハウス、六甲山スノーパーク、六甲オルゴールミュージアム、六甲高山植物園、自然体感展望台、六甲枝垂れの来場者
六甲ガーデンテラスに関しては駐車場利用者から割り出した推定人数。
(自然体感展望台、六甲枝垂れに関しては開業後の2010年以降)

2-1 六甲山・摩耶山の来訪者数

◇ 山上への来訪者数

- ・山上への来訪者数は、閑散期と繁忙期の差が激しく、平均来訪者数では休日は平日の約2倍となっている。
- ・来訪者数上位は、繁忙期（5月・8月・11月）に集中。

■ 山上への日別来訪者数（R1データ）



	日にち	平休	来訪者数	天気
1	5月4日	休日	14,042	晴
2	5月3日	休日	14,039	晴
3	11月3日	休日	13,273	晴時々曇
4	11月23日	休日	13,061	晴
5	9月15日	休日	12,944	晴
6	11月10日	休日	12,721	晴
7	5月2日	休日	12,537	晴
8	5月5日	休日	12,180	晴
9	10月20日	休日	11,644	晴
10	8月11日	休日	11,343	晴
11	8月12日	休日	11,169	晴
12	4月28日	休日	11,149	晴時々曇
13	11月17日	休日	10,797	晴
14	11月16日	休日	10,753	晴
15	11月9日	休日	10,466	晴
16	6月9日	休日	10,244	晴時々曇
17	11月4日	休日	10,041	晴
18	5月12日	休日	9,862	晴
19	11月2日	休日	9,717	晴
20	9月16日	休日	9,625	晴

資料：混雑統計（H31.1～R1.12）

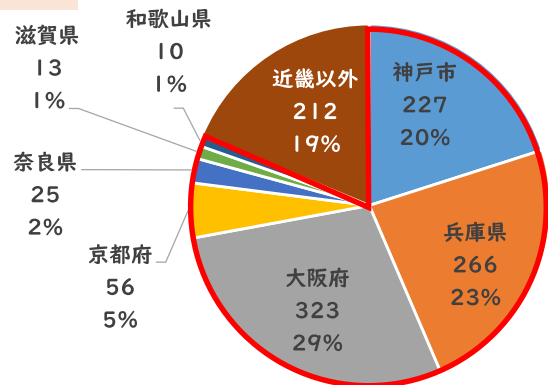
2-1 六甲山・摩耶山の来訪者数

◇ 山上への来訪者像

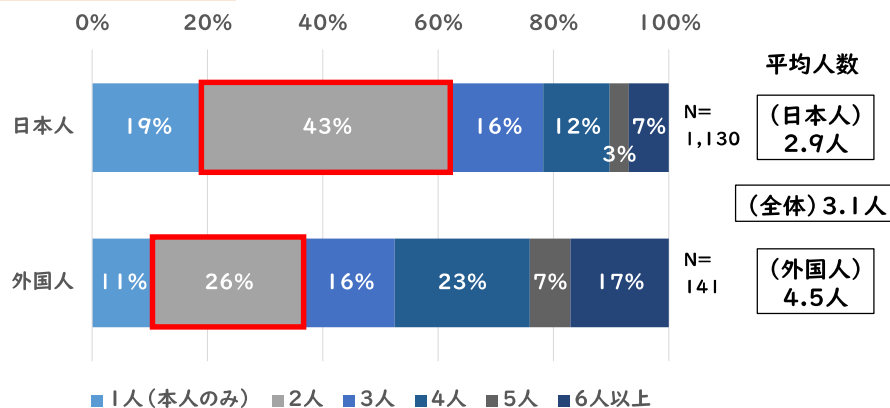
- ・六甲山・摩耶山へは兵庫県内からの来訪者が4割強を占め最も多いが、大阪府の約3割を含め、関西圏からの来訪者が全体の8割を占めている。
- ・来訪目的では観光・レジャーが大半を占める。
- ・同行人数（本人含む）は平均3.1人程度で、家族での来訪割合が最も高い。

■ 来訪者像

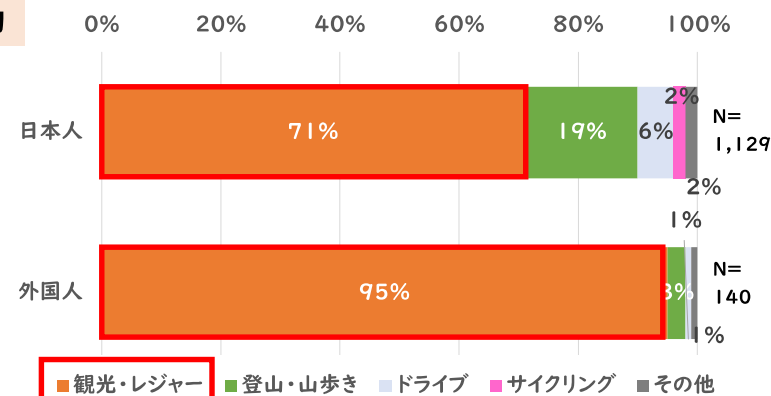
居住地（日本人）



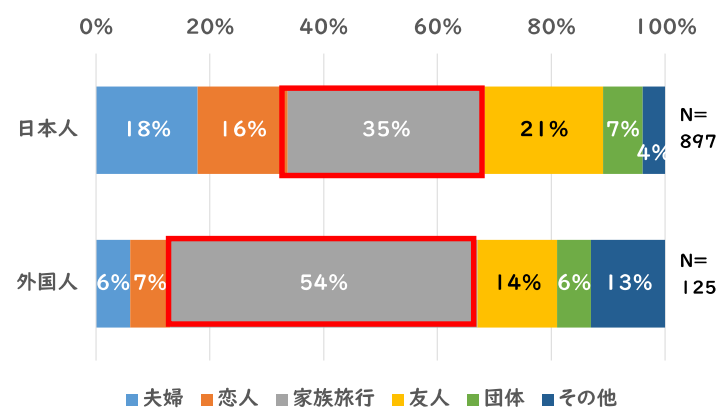
同行人数（本人含む）



来訪目的



旅行形態



資料：マーケティングアンケート調査（H30.7～8）

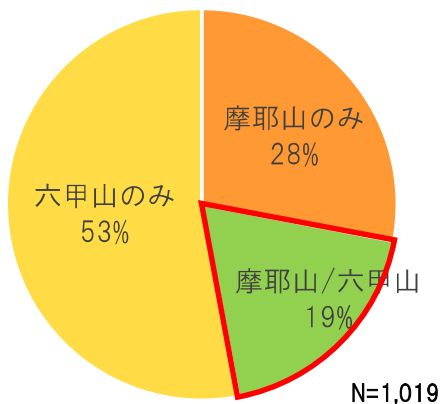
2-2 六甲山・摩耶山上の回遊状況

◇ 各施設への観光客数と回遊状況

- ・山上への来訪者全体では、六甲山エリアのみが5割、摩耶山エリアのみが3割で、両ゾーンを回遊する人は2割程度である。
- ・各施設における来場者の回遊状況をみると、六甲ガーデンテラスでは約9割、六甲山牧場では約7割の来場者がエリア内での移動に留まっている。

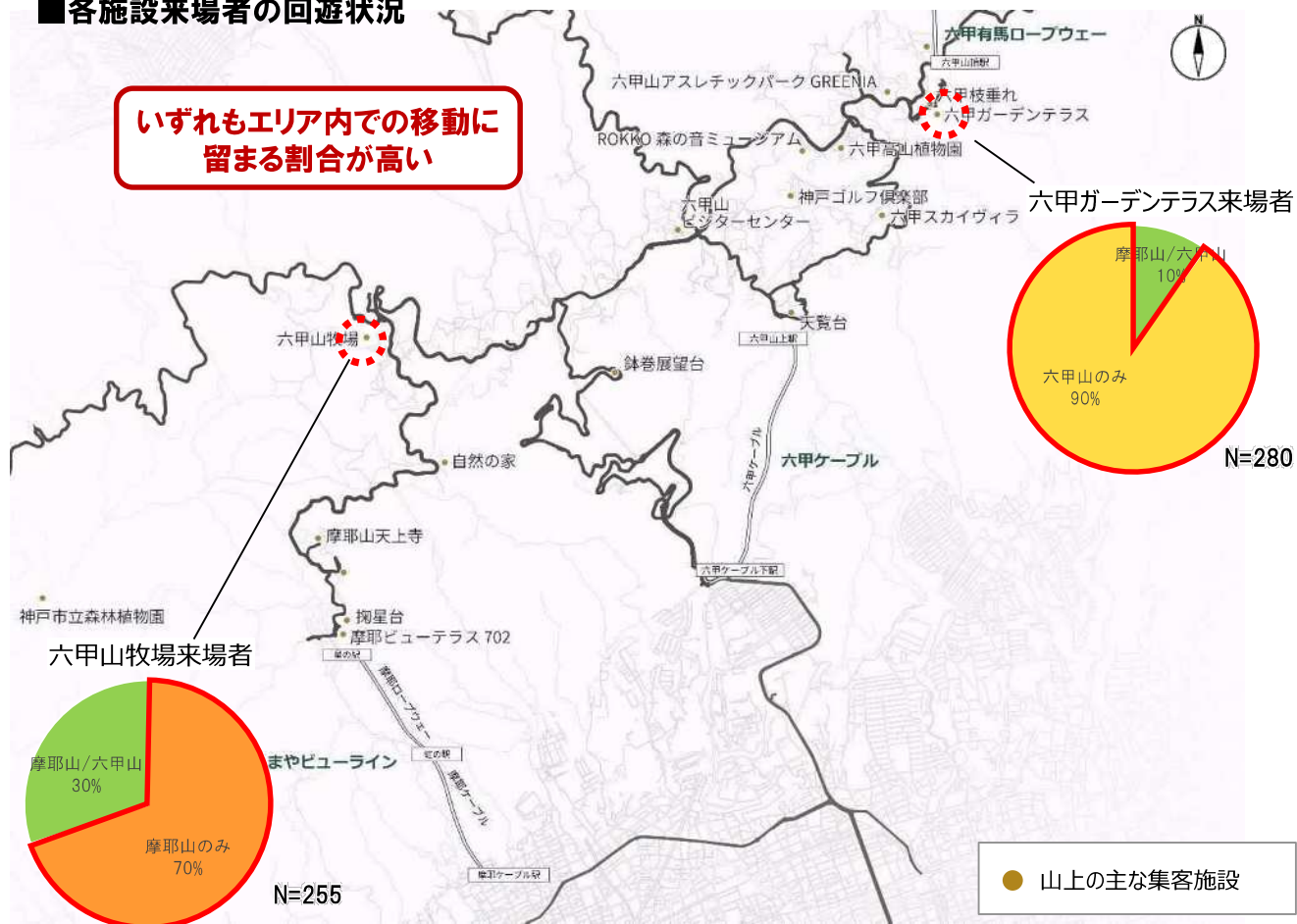
■ 来訪エリア割合（山上来訪者全体）

摩耶山・六甲山の両エリアを
周遊する割合は低い



■ 各施設来場者の回遊状況

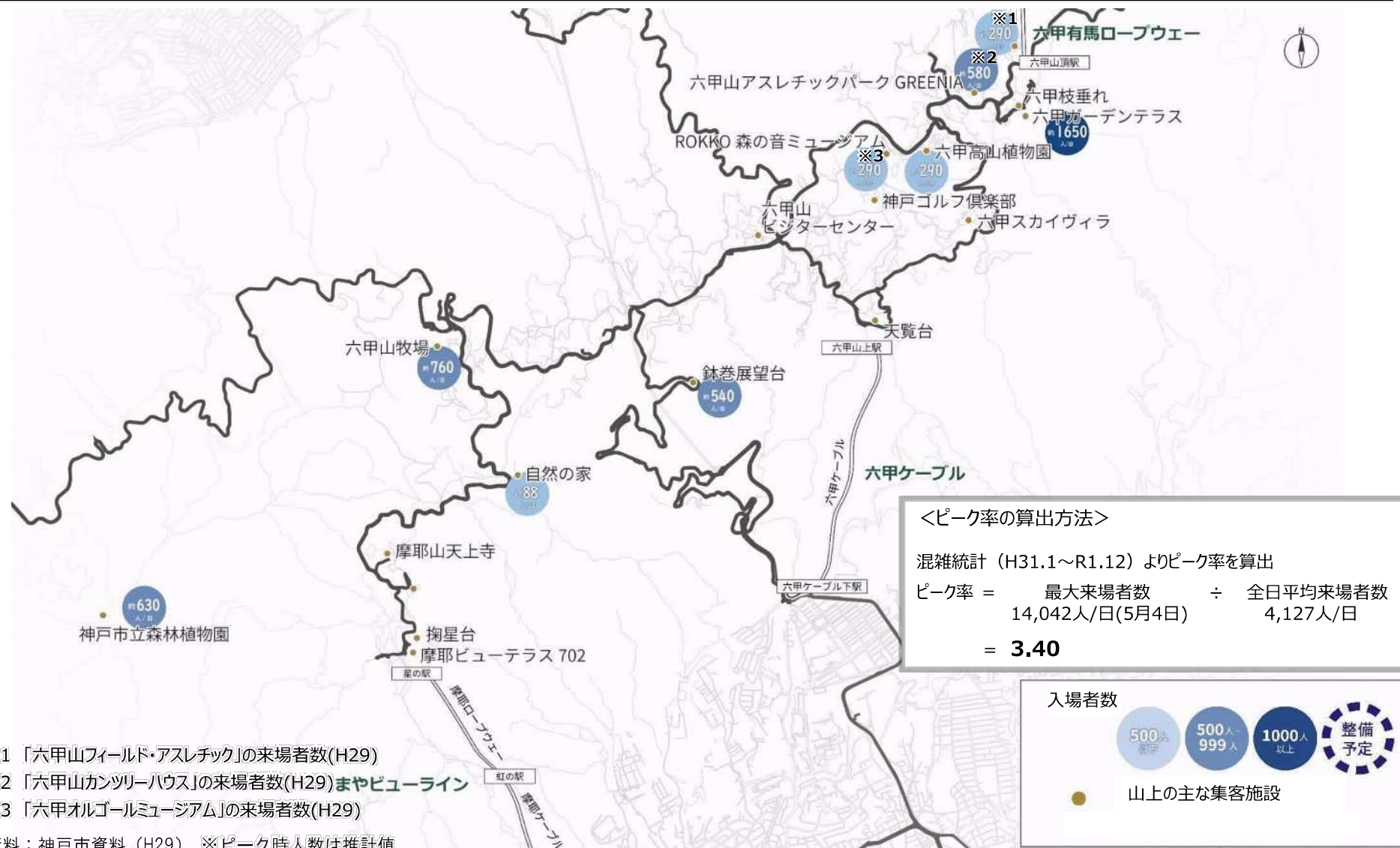
いずれもエリア内での移動に
留まる割合が高い



資料：マーケティングアンケート調査（H30.7～8）

2-3 六甲山・摩耶山の主な集客施設

- 六甲山エリアでは六甲ガーデンテラス（約1,650人/日）を中心に観光施設が集中している。
- 摩耶山エリアでは六甲山牧場（約760人/日）が最も来場者が多い。
- 混雑統計の結果から、来場者数がピークとなった日（5月4日）は全日平均の3.4倍もの人が来訪している。



2-4 六甲山・摩耶山における計画・規制緩和

2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境

◇ 六甲山グランドデザイン

六甲山・摩耶山の魅力ある自然を活用し、自然保護との最適なバランスを保ちながら活性化を図ることを目的として、六甲山の目指すべき方向性及びそれを実現するための方策について『六甲山グランドデザイン（H31.3）』を策定。

◇ 六甲山上スマートシティ構想

六甲山上の事業環境を整備し、快適で創造性を刺激する魅力的なビジネス空間を実現していくことを目的に『六甲山上スマートシティ構想（R2.5）』を策定。

◇ 計画推進のための支援

◆ 賑わい創出事業

利活用を見込む六甲山上の遊休施設等に対して、提案者自身が六甲山上の観光振興への貢献を前提に建替えや改修等のリニューアルを主体的に行う際のリニューアル経費への支援

◆ 六甲山「森のオフィス」の開設

遊休施設等の活用や幅広い事業化に関する相談、物件の斡旋、マッチング等のサービスを一体的に行うワンストップ窓口を開設

◆ 六甲山「都市型創造産業振興事業」

遊休施設または既存施設を建て替えまたは改修し、オフィスやワークスペースとして使用する場合、改修経費や情報通信環境整備費を補助

◆ スタートアップオフィス開設支援

成長が見込める3年以上の事業計画を有するスタートアップがオフィスを開設する場合に、賃借料、改修費、通信回線使用料等を補助

◆ イノベーション拠点開設支援

スタートアップのビジネス活動・成長の支援を目的とするコワーキングスペースを新たに開設する場合に、改修費、事務機器取得費を補助



2-4 六甲山・摩耶山における計画・規制緩和

2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境

◇ 規制緩和について

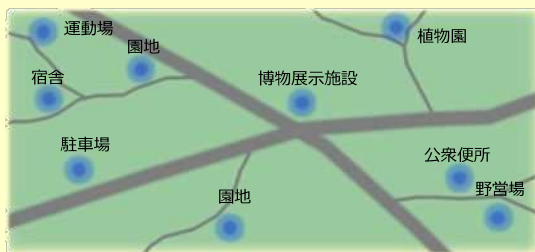
自然公園法（環境省）

◆ 公園計画の改定

- ・摩耶山について第1種特別地域から第2種に規制緩和（H30.8）
- ・六甲山及び摩耶山集団施設地区※の指定（H30.8）

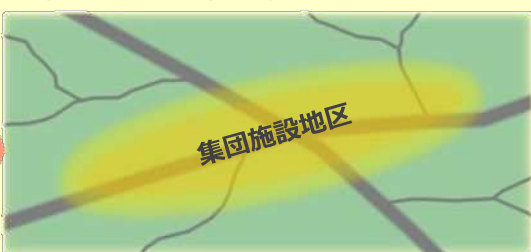
※集団施設地区：国立公園の利用拠点として、利用及び管理のための施設を総合的に整備する地区。

<集団施設地区指定前>



個別の利用施設計画が設定されており、それ以外の事業はできなかった。

<集団施設地区指定後>



様々な公園事業を展開することが可能となった。



集団施設地区計画図

都市計画法（神戸市）

◆ 立地基準について（観光に資する施設）

- ・既存建築物の建替え等のみ可能 ⇒ 新築可能（H31.4）
- ・観光に資する施設への用途変更を認める特例を摩耶山集団施設地区に対象区域を拡大（H31.4）

◆ 立地基準について（都市型創造産業に資する施設）

- ・立地不可 ⇒ 建替・改修可能（R1.12）

風致条例（神戸市）

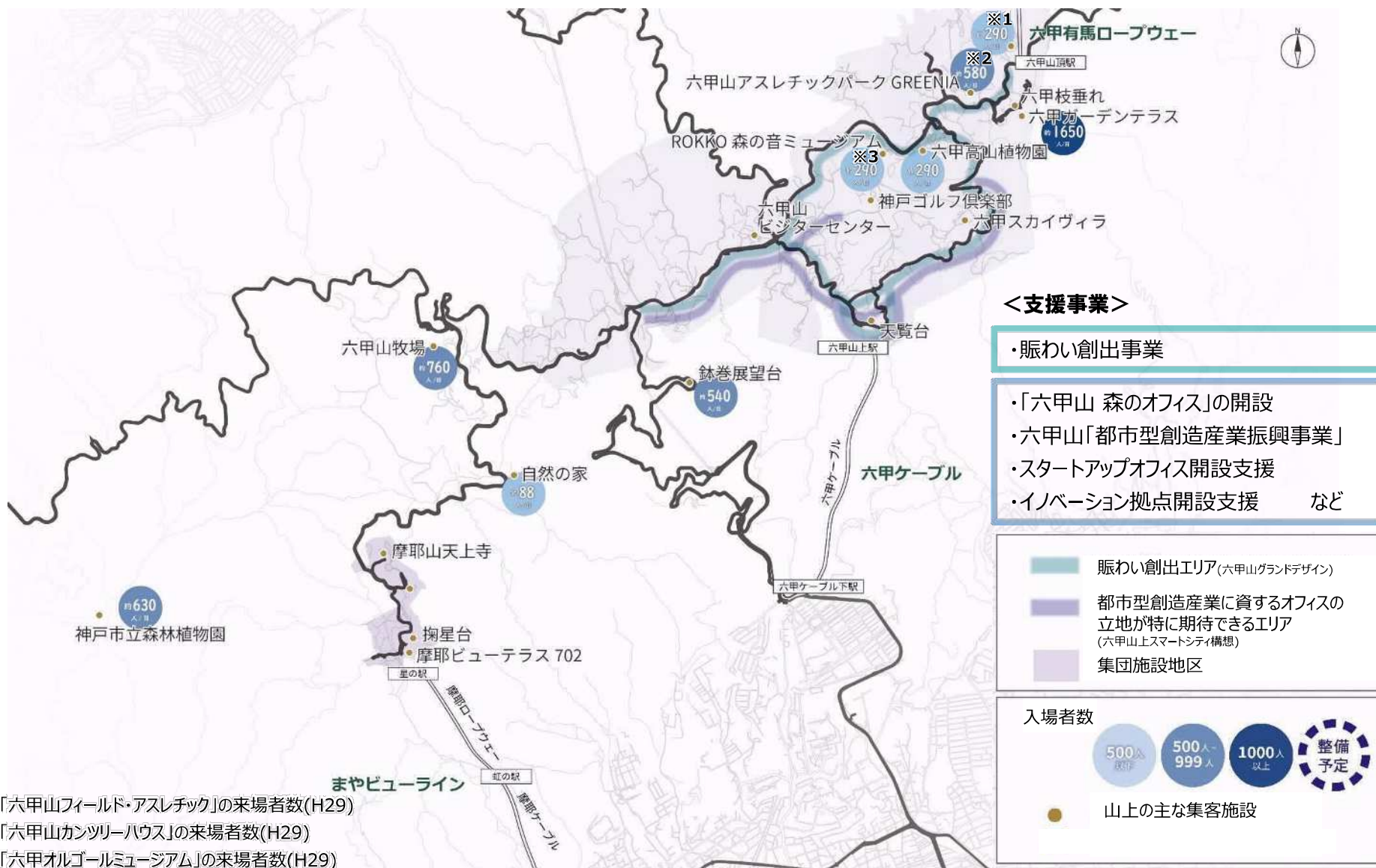
◆ 建築物基準について

- ・高さ10m以下 ⇒ 高さ13m以下（H30.4）
- ・摩耶山集団施設地区に対象区域を拡大（H31.4）
- ・建築物の許可基準を自然公園法に準拠し、緑地率50%以上、地盤高低差6m以下について問わないよう緩和（R1.12）

2-4 六甲山・摩耶山における計画・規制緩和

2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境

・六甲山ランドデザインの「賑わい創出エリア」、及び六甲山上スマートシティ構想の「オフィス立地期待エリア」は、六甲山上の主要道路沿線に設定されている。



2-5 六甲山・摩耶山における取り組み

◇ 賑わい施設の整備

六甲山サイレンスリゾート

運営事業者：八光カーグループ

開業：令和元年7月

事業：カフェ・ギャラリー

施設概要：六甲山のシンボルでもあった「旧六甲山ホテル」を「六甲山サイレンスリゾート」として、旧館部分を1階ギャラリー、2階カフェにリニューアル。国の近代化産業遺産にも認定された旧六甲山ホテルを、歴史と自然、景観が一体となった開業当時の美しい姿でよみがえらせた。引き続きホテルの建設等を検討されている。



ホテル神戸六甲迎賓館（平成30年度賑わい創出事業選定事業）

運営事業者：(株)エイム

開業：令和2年3月

事業：ホテル（23室）・レストラン・カフェ・売店

施設概要：大学のセミナーハウスを、地上3階、地下1階建てのリゾートホテルタイプの宿泊施設に建替え。山上を訪れるすべての人に開かれた施設がコンセプト。また、ホテル南側敷地に催事・イベント等のためのセンターハウス「神戸六(こべろく)」を令和元年度賑わい創出事業として建設。



ROKKONOMAD（ロコノマド）

運営事業者：六甲山スマートシティ運営共同事業体（(株)いきいきライフ阪急阪神・(有)Lusie[神戸R不動産]）

開業：令和3年3月

事業：シェアオフィス・宿泊施設

施設概要：山上で働く人たちのビジネス交流拠点「共創ラボ」として開設する会員制の「森の中の泊まれるシェアオフィス」。光回線やビジネス用のWi-Fi環境が整備され、快適なインターネット環境のもと仕事を行うことが可能。



自然の家の再整備

(自然の家 来場者数(H29) : 88人/日)

<再整備の概要>

- ・令和5年3月31日、指定管理期間満了予定
- ・青少年野外活動のための宿泊施設として主に学校園を中心に利用されてきたが、施設の老朽化や少子化による学校利用の減少といった状況に直面している
- ・青少年育成とともに家族利用等、より幅広い層に利用される野外活動施設となるよう、自然の家の今後のあり方を検討
- ・運営経験のある民間事業者の知見やノウハウ等を活用

<スケジュール>

令和3年度

- ・民間事業者へのサウンディング調査
- ・再整備基本方針の策定

令和4年度

- ・事業者の公募・選定・契約

令和5年度

- ・工事着手

令和6年度

- ・開業



摩耶山掬星台の再整備

(オテル・ド・摩耶 来場者数(H29)：47人/日)

<再整備の概要>

- ・令和3年3月31日、PFI事業期間満了を迎えた国民宿舎神戸摩耶ロッジ（オテル・ド・摩耶）閉館
- ・摩耶山全体の魅力を最大限に向上させるため、オテル・ド・摩耶の宿泊機能を維持・発展させるとともに、掬星台園地も含めた一体的な再整備を検討
- ・再整備における民間活力の導入を検討
- ・具体的なスケジュールや公募方法については、事業者ヒアリング等の結果を踏まえて検討

<スケジュール>

令和3年度

- ・再整備に向けた検討

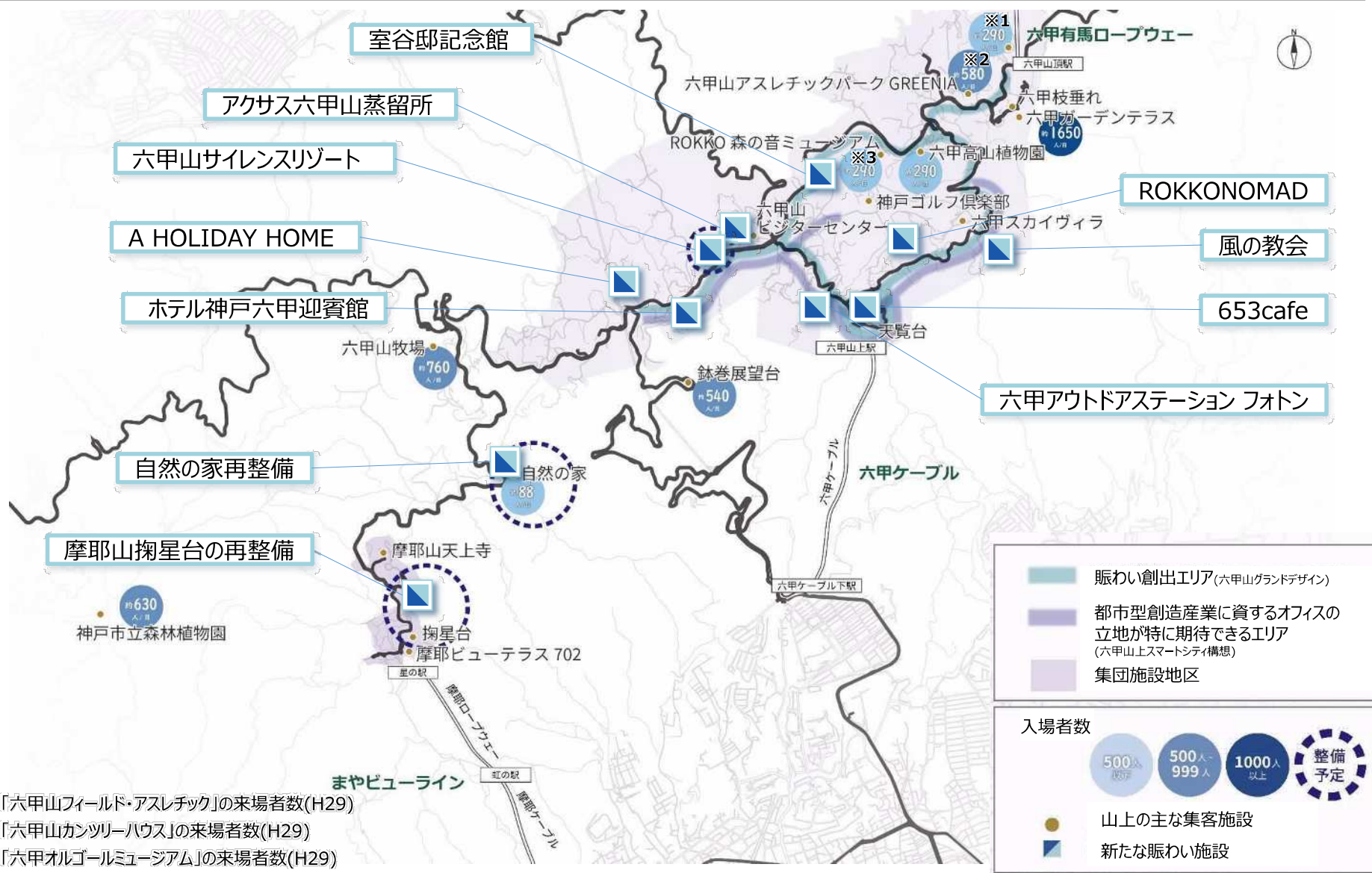
令和3年度以降

- ・掬星台を含む摩耶山上の再整備事業者公募



2-5 六甲山・摩耶山における取り組み

- 六甲山に集客施設や賑わい創出に向けた多くの取り組みが進められている。
- 摩耶山でも既存施設を基軸とした再整備による活性化の取り組みを予定しており、両エリアの連携が今後一層重要となる。



2-5 六甲山・摩耶山における取り組み

2. 六甲山・摩耶山を取り巻く環境

◇ 快適な活動環境の整備

・観光地としての魅力向上、ビジネス拠点化へ向けた環境整備として、様々な取り組みを進めている。

<主な整備内容>

光回線によるブロードバンド

➡ 令和2年12月25日にサービス開始

登山道・案内表示等の整備

➡ 主要ハイキング道等における案内板等の更新や多言語化、歩行空間の整備

市バス18系統・106系統急行便の運行

➡ 三宮・新神戸から摩耶ケーブル下までを結ぶ18系統急行便、
JR六甲道・阪急六甲から六甲ケーブル下までを結ぶ106系統急行便をそれぞれ運行

山上の水道料金体系の見直し

➡ 六甲山上と市街地の水道事業統合に伴い、令和3年4月から山上の水道料金を値下げ

1) 歴史と現状

- ・六甲山と摩耶山では異なる歴史を歩んできたが、いずれも豊かな自然が残っている。
- ・山上への外国人来場者は急増。（※コロナ禍以前）
- ・観光・レジャー目的の来訪が多く、同行人数は平均3.1人程度で、家族での来訪が最も多い。来訪者は繁忙期に集中。
- ・六甲山エリアでは六甲ガーデンテラスを中心に観光施設が集中しており、摩耶山エリアでは六甲山牧場への来場者が最も多い。
- ・六甲山～摩耶山を周遊する人は全体の2割と少ない。

2) 山上における計画

- ・六甲山ランドデザインでは、六甲山・摩耶山の魅力ある自然を活用し、自然保護との最適なバランスを保ちながら活性化を図ること目指している。
- ・六甲山上スマートシティ構想では、快適で創造性を刺激する魅力的なビジネス空間の実現を目指す。

3) 山上における取組

- ・賑わい創出事業や山上での規制緩和等により、様々な施設の整備が進められている。
- ・観光地としての魅力向上、ビジネス拠点化に向けた環境整備が進められている。

- ・ **山上の活性化に向けた各種取り組みが行われており、今後も山上への来訪需要増加が見込まれる**
- ・ **活性化をさらに促進するためには、来訪需要を支える交通も重要な要素のひとつ**

**現在の交通の課題の解消や将来の来訪需要への対応を踏まえた
交通全体のあり方について検討が必要**

3. 六甲山・摩耶山の交通の現状

3-1 六甲山・摩耶山へのアクセス手段

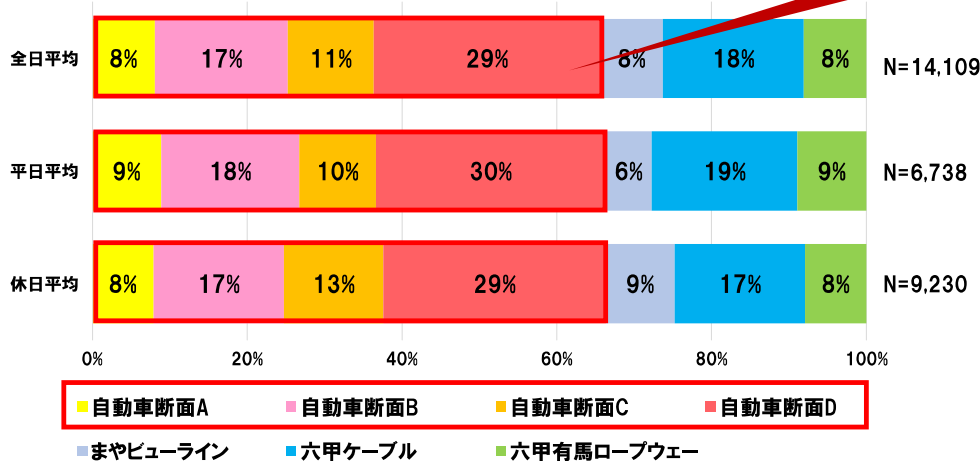
◇ アクセス交通手段の利用状況

- ・六甲・摩耶山上までの交通手段は、自動車約 7 割、ケーブル・ロープウェーが約 3 割。
- ・地点別でみると、六甲ガーデンテラスで約 7 割、六甲山牧場で 8 割以上が自動車で来訪している。

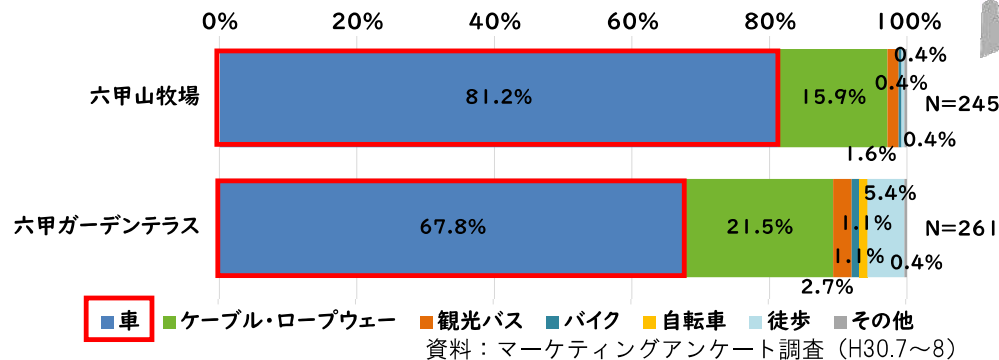
■ 山上までのアクセス交通手段

総断面通過回数（日別断面別）の年平均の断面分担率

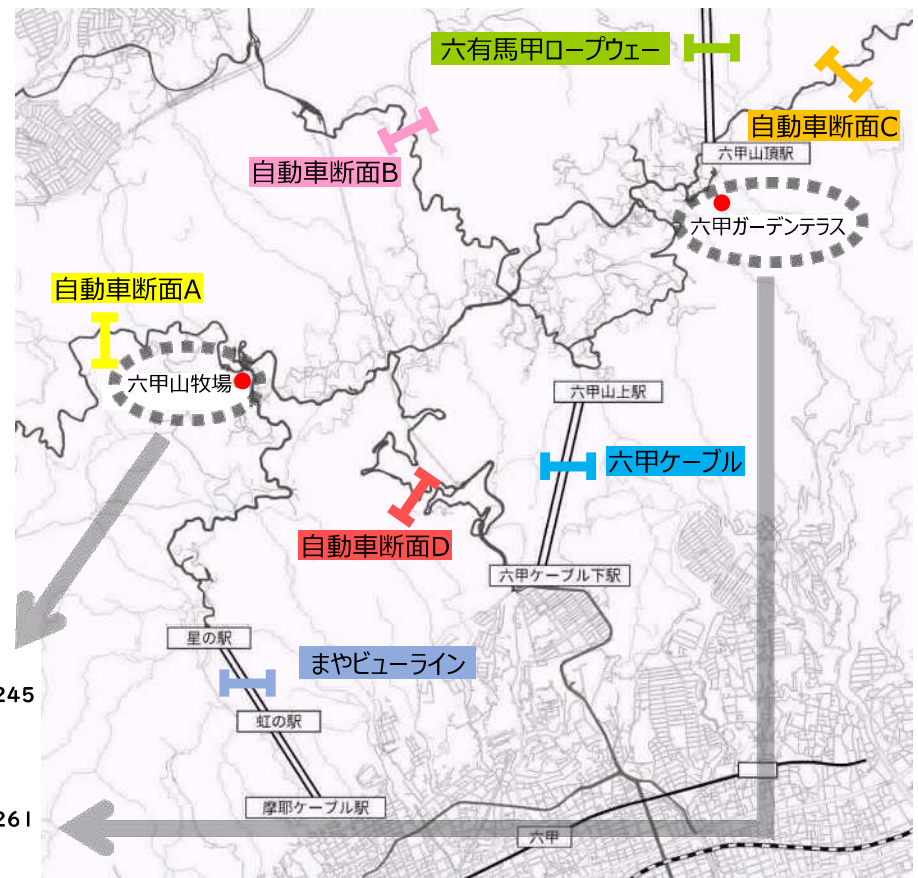
いずれも7割近くが自動車由来訪



地点別のアクセス手段



断面位置図



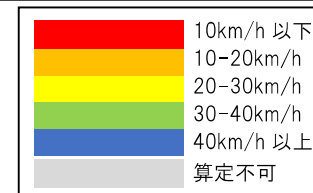
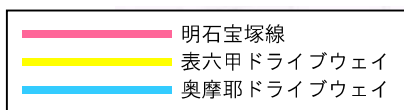
3-2 六甲山・摩耶山における交通混雑

◇ 交通渋滞の発生状況

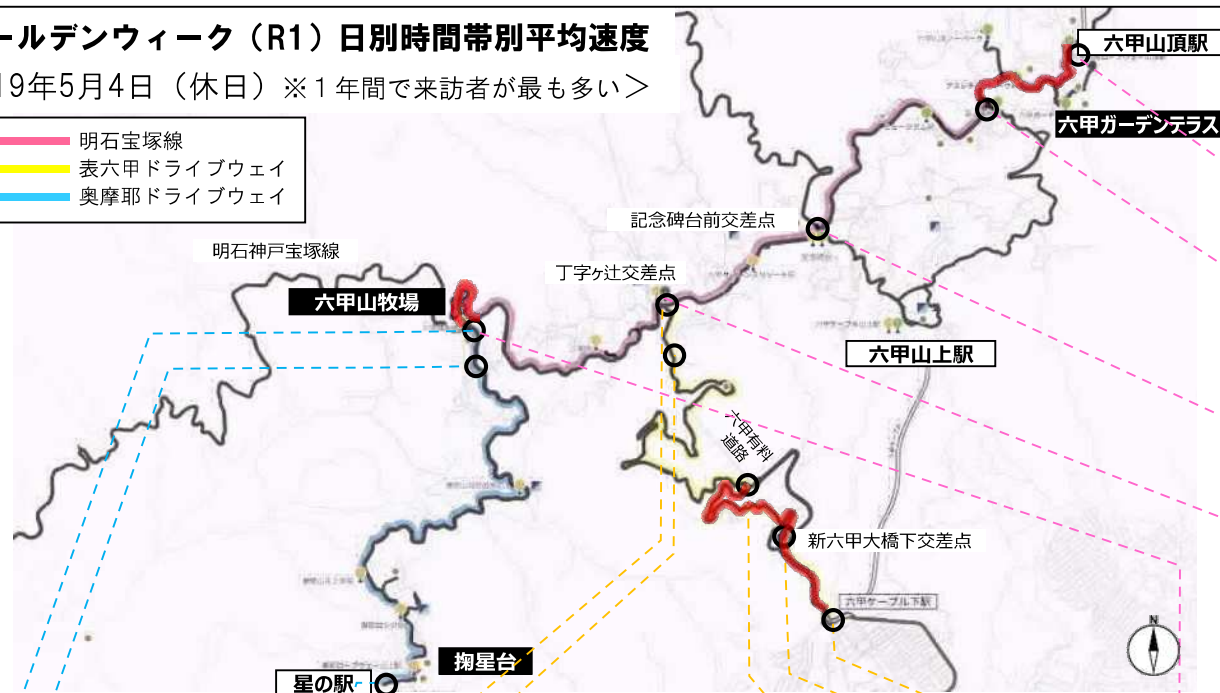
- ・繁忙期（5月、8月、11月）には明石神戸宝塚線の六甲山牧場周辺、六甲山頂駅周辺（六甲ガーデンテラス周辺）及び裏六甲ドライブウェイの新六甲大橋下交差点で交通渋滞が発生。
- ・奥摩耶ドライブウェイ（六甲山牧場～掬星台間）では日中には顕著な混雑はみられない。

■ ゴールデンウィーク（R1）日別時間帯別平均速度

<2019年5月4日（休日）※1年間で来訪者が最も多い>



指定最高速度：40km/h



時間表	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												

時間表	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												

時間表	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												

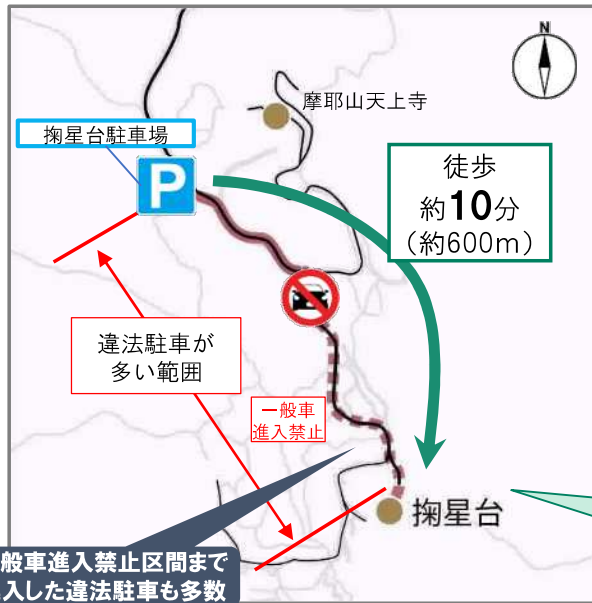
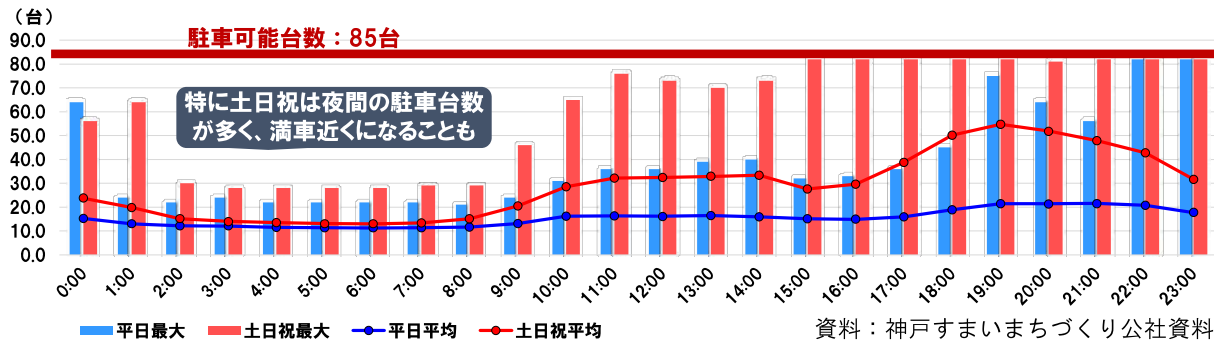
資料：インターナビ・フローティングカーデータ（R1.5.4）DRM3003基本道路

3-3 摩耶山における交通渋滞

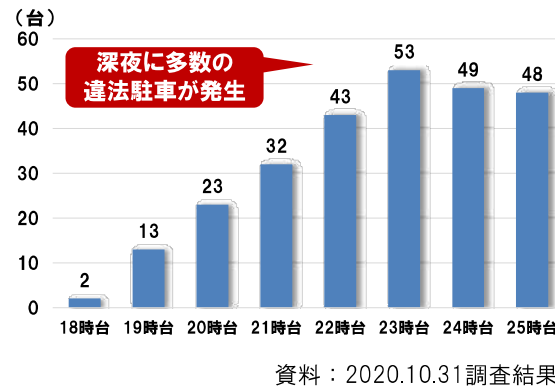
◇ 交通渋滞の発生状況

- ・掬星台からの夜景を目的とした夜間の来訪者が多く、繁忙期では掬星台駐車場が満車になり、駐車場待ちの自動車で渋滞が発生している。
- ・また、掬星台駐車場付近での道路上の違法駐車が多く、令和2年度より警察による取り締まりが強化されている。

■繁忙期（令和元年5月,8月,11月）の掬星台駐車場の利用状況

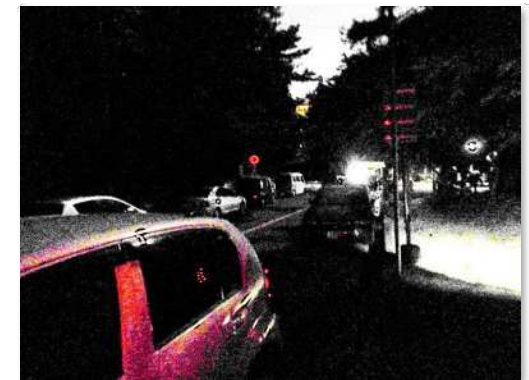


■掬星台周辺の夜間違法駐車台数



繁忙期は夜間の夜景を目的とした来訪車両の駐車場入庫待ちによる渋滞が著しい（県警ヒアリング）

■夜間における路上駐車の様子



※2020.10.31現地にて

■路上駐車を取り締まり状況



摩耶山掬星台に向かう道路で、兵庫県警が夜間に行った路上駐車の一斉取り締まり＝8月30日夜、神戸市灘区摩耶山町

資料：神戸新聞NEXT（2020.9.10）

3-4 六甲山・摩耶山の交通環境

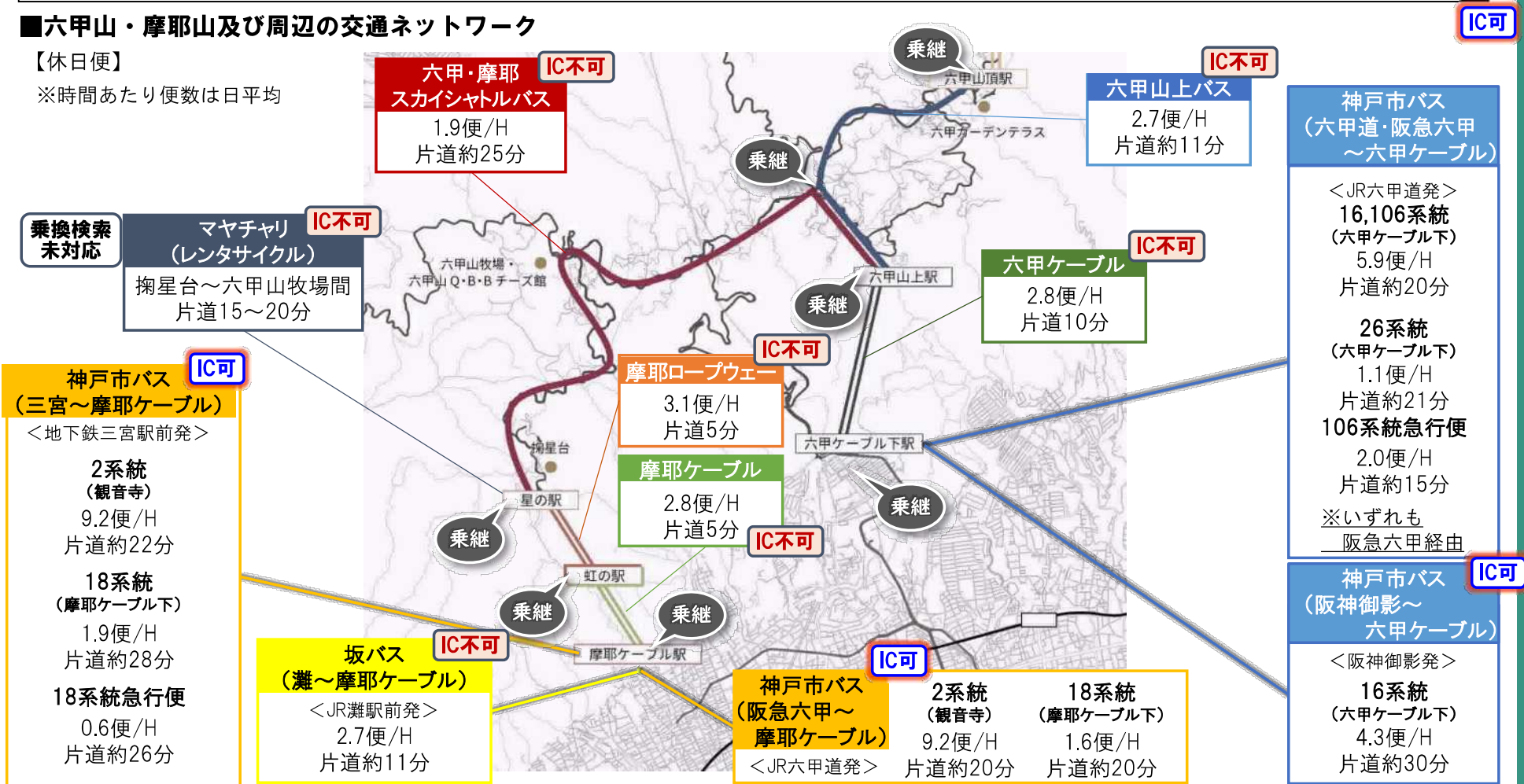
① 六甲山・摩耶山及び周辺の交通ネットワーク

- ・市街地から山麓までは路線バスが、山麓から山上までは六甲ケーブルとまやビューライン（ケーブルカー・ロープウェー）が、そして山上周遊手段としては六甲山上バスと六甲・摩耶スカイシャトルバスが運行している。
- ・市街地から山上へ来訪・山上を周遊するには多くの乗り継ぎが必要となる。
- ・また、交通系ICカードが利用不可の交通も多く、乗り換え検索に未対応のモードもある。

■六甲山・摩耶山及び周辺の交通ネットワーク

【休日便】

※時間あたり便数は日平均



3-4 六甲山・摩耶山の交通環境

①市街地から山麓部へのアクセス

- ・山麓部における六甲ケーブル及び摩耶ケーブルと路線バスのダイヤ接続は、ケーブルカーの全便にバスが接続していない。
- ・また、接続している便でも最大で20分程度の待ち時間が発生する場合があります、接続が良いとは言えない。

■路線バスと六甲ケーブル・摩耶ケーブルとの接続状況

【休日便】



**神戸市バス
(三宮方面から)**

2系統
(観音寺から徒歩*)

- ◆ 115便で接続
- 平均接続時間：9分
- 最大接続時間：20分
- ただし、観音寺バス停から約7分歩く必要あり

18系統
(摩耶ケーブル下)

- ◆ 23便で接続
- 平均接続時間：9分
- 最大接続時間：20分

**坂バス
(灘方面から)**
(摩耶ケーブル下)

- ◆ 34便で接続
- 平均接続時間：8分
- 最大接続時間：9分
- ただし、三宮からの場合灘駅まで鉄道利用必要

神戸市バス(阪急六甲方面から)

2系統
(観音寺から徒歩*)

- ◆ 115便で接続
- 平均接続時間：9分
- 最大接続時間：20分
- ただし、観音寺バス停から約7分歩く必要あり

18系統
(摩耶ケーブル下)

- ◆ 20便で接続
- 平均接続時間：8分
- 最大接続時間：20分

**神戸市バス
(阪急六甲方面から)**

16,106系統
(六甲ケーブル下)

- ◆ 97便で接続
- 平均接続時間：9分
- 最大接続時間：28分

26系統
(六甲ケーブル下)

- ◆ 12便で接続
- 平均接続時間：10分
- 最大接続時間：19分

**神戸市バス
(阪神御影方面から)**

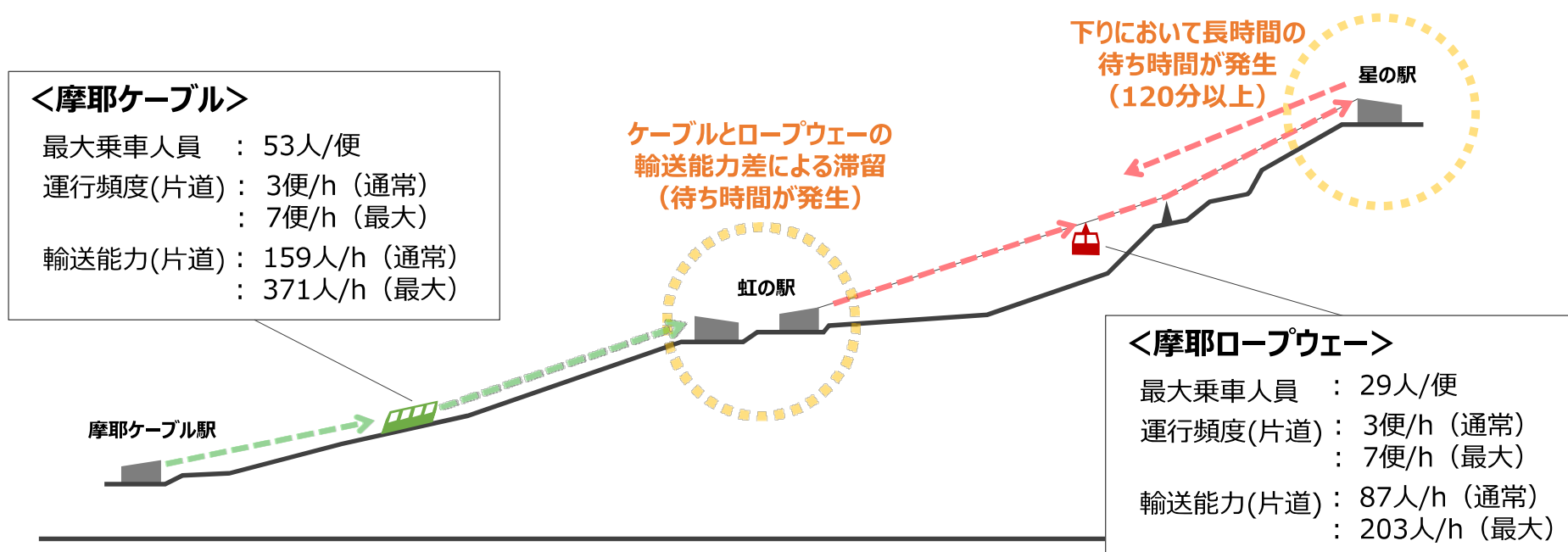
16系統
(六甲ケーブル下)

- ◆ 69便で接続
- 平均接続時間：9分
- 最大接続時間：28分

※接続時間は摩耶ケーブル駅着後

② 山麓部から山上へのアクセス

・まやビューラインにおいては、摩耶ケーブルと摩耶ロープウェーの輸送力に差があり、観光客輸送におけるボトルネックとなっている。



<現状>

繁忙期には、ロープウェーのピストン運行（最大片道 7便/h）を実施しているが滞留が発生。

- ・ケーブルとロープウェーの輸送力差により「虹の駅」乗り換えに待ち時間が生じている状況
- ・ロープウェーの輸送力の不足のため、「星の駅」にて120分以上の待ち時間が発生している

➡ **繁忙期にはすでに輸送力の許容量を超えている。**

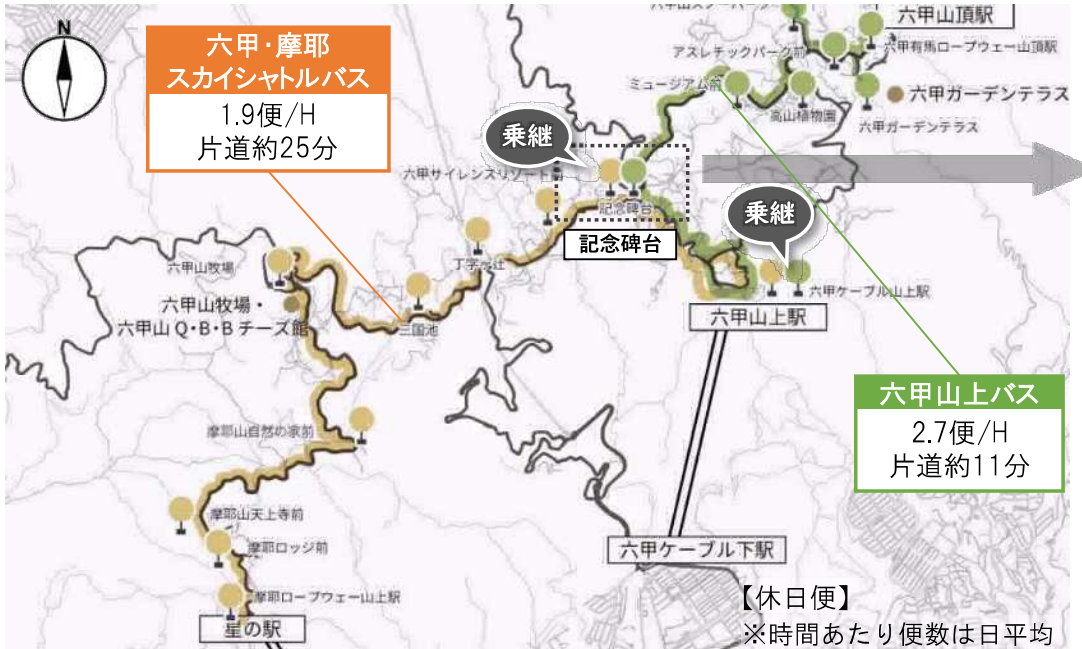
3-4 六甲山・摩耶山の交通環境

3. 六甲山・摩耶山の交通の現状

③ 山上での周遊性

- ・摩耶山エリアと六甲山エリアを公共交通機関で周遊する場合、六甲・摩耶スカイシャトルバスと六甲山上バスを乗り継ぐ必要があるが、乗継に要する待ち時間が長い。また、記念碑台では各バス停が離れたところであり、待合環境が整備されていない。
- ・六甲・摩耶スカイシャトルバスの運行本数が少なく、利用者数も少ない。

■山上を運行するバスの状況



■六甲・摩耶スカイシャトルバスと六甲山上バスの接続時間

六甲摩耶スカイシャトルバス = (乗換) = 六甲山上バス

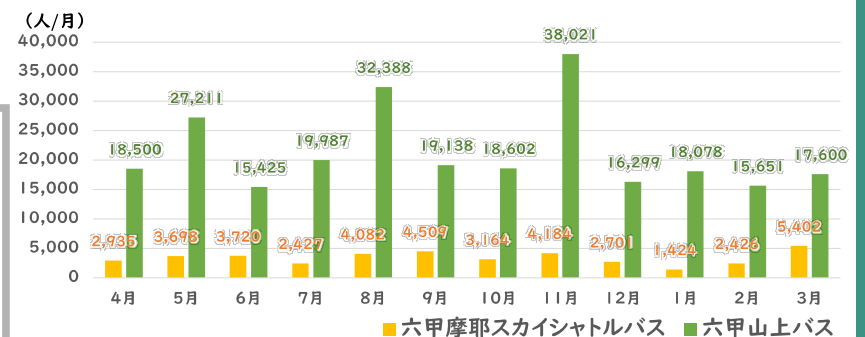
六甲・摩耶スカイシャトルバス → 六甲山上バス		六甲・摩耶スカイシャトルバス ← 六甲山上バス	
<平均接続時間>	<最大接続時間>	<平均接続時間>	<最大接続時間>
記念碑台 : 10分	記念碑台 : 15分	記念碑台 : 16分	記念碑台 : 27分
六甲山上駅 : 9分	六甲山上駅 : 17分	六甲山上駅 : 11分	六甲山上駅 : 22分

※記念碑台乗換よりも六甲山上駅乗換の方が90円割高になる

■記念碑台バス停周辺の状況



■六甲山・摩耶山の交通手段の利用状況 (H29実績)



資料：運行事業者提供、平成29年度利用者数

3-5 まとめ（交通の問題点）

■ 六甲山・摩耶山の交通の現状まとめ

山上での公共交通がわかりにくい、利便性が悪い

- ・公共交通での移動では乗継回数が多い
- ・山上での移動手段が限定的
- ・乗換検索等ではすべての交通が網羅されていない
- ・キャッシュレス対応していない
- ・交通手段による便数やダイヤが不揃い

摩耶山上における夜景を目的とした違法駐車

- ・掬星台周辺において違法駐車・交通渋滞が発生

摩耶ロープウェーの輸送力不足

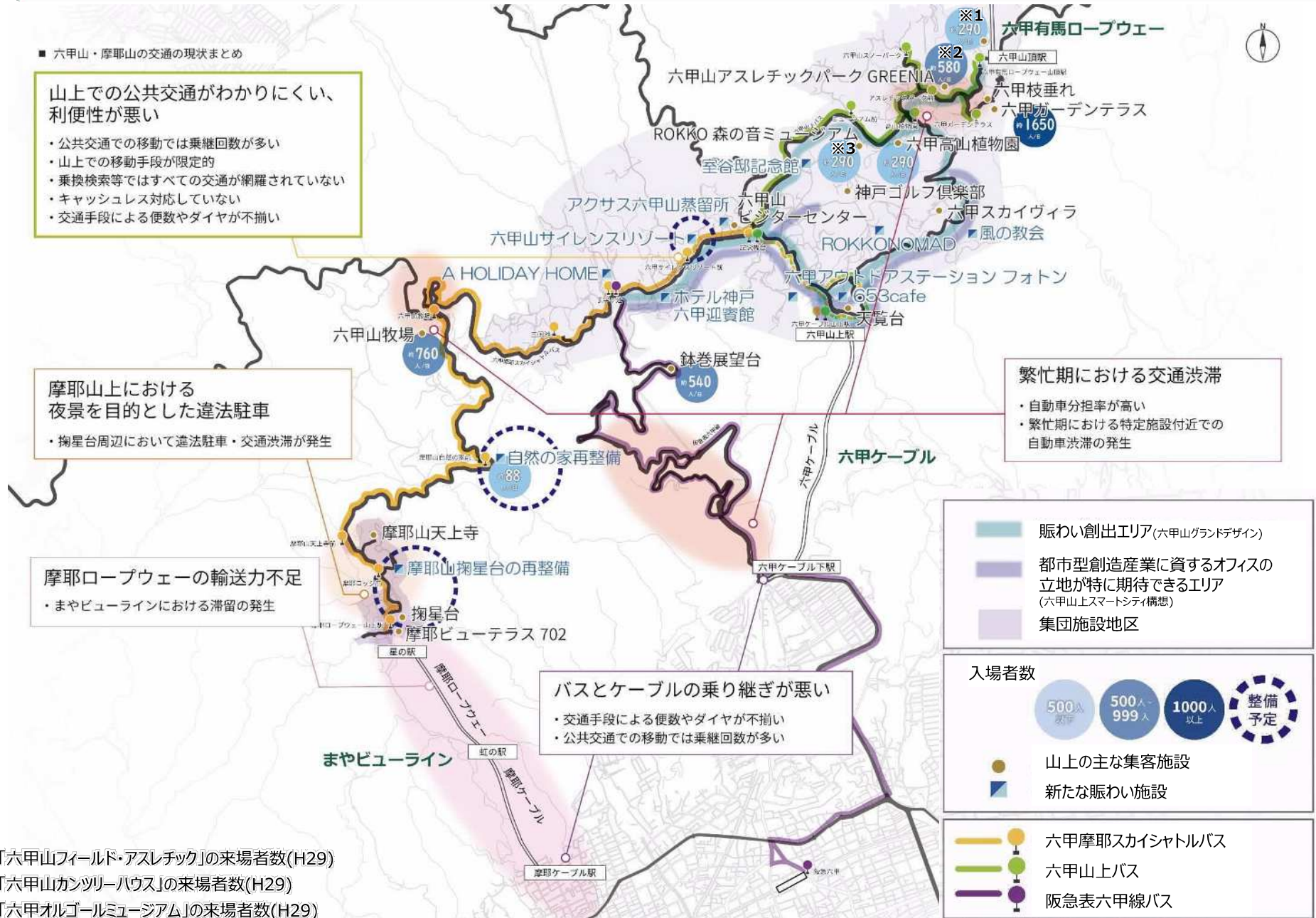
- ・まやビューラインにおける滞留の発生

バスとケーブルの乗り継ぎが悪い

- ・交通手段による便数やダイヤが不揃い
- ・公共交通での移動では乗継回数が多い

繁忙期における交通渋滞

- ・自動車分担率が高い
- ・繁忙期における特定施設付近での自動車渋滞の発生



※1 「六甲山フィールド・アスレチック」の来場者数(H29)

※2 「六甲山カンツリーハウス」の来場者数(H29)

※3 「六甲オルゴールミュージアム」の来場者数(H29)

4. 公共交通に関する動向

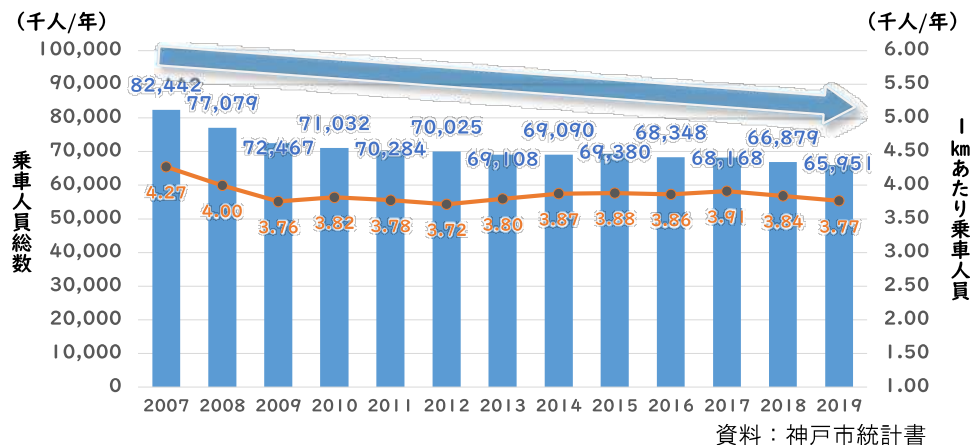
4-1 市内公共交通を取り巻く状況

◇ バス事業者の状況

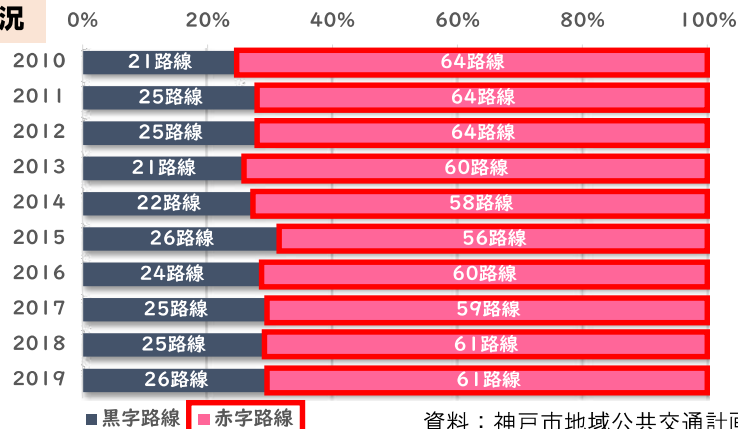
- ・市バスの乗車人員は1992年度をピークに減少傾向にあり、2018年度時点でピーク時の半数近くまで減少。
- ・経営状況は路線全体で赤字であり、路線別でも全路線の7割以上が赤字路線となっている。
- ・市内のバス事業者の7割以上で運転手不足が発生しており、9割以上が今後、路線・便数が維持できなくなることを懸念。

■ 神戸市営バスの運営状況

乗車人員

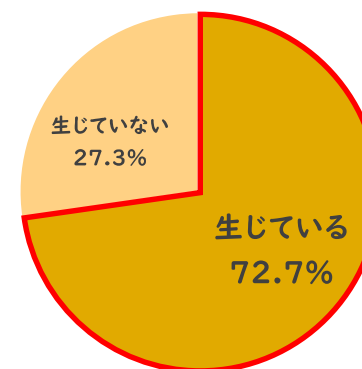


路線別収支状況

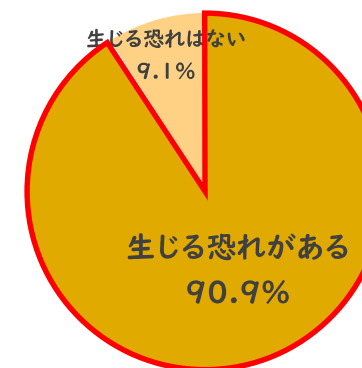


■ 深刻化するバス運転手不足

運転手不足の発生状況



今後、路線・便数が維持できなくなる恐れ



資料：市内路線バス事業者（11社）へのアンケート調査（2019年度 市独自調査）

4-2 交通政策の動向

◇ 多様なモビリティ

・環境にやさしい電動車を基本とした各種の多様なモビリティが開発され、各地で導入が進められている。

■ 多様なモビリティの導入

電動バス



羽村市コミュニティバス



宮古市周辺観光路線

超小型モビリティ



トヨタ i-ROAD

コミュニティサイクル



マヤチャリ

グリーンスローモビリティ



尾道グリーンスローモビリティ



由布市nolc

パーソナルモビリティ



トヨタ 歩行領域EV



電動キックボード

4-3 交通政策の動向

◇ 交通政策の潮流

- ・交通に対するニーズは日々多様化しており、提供するサービスも多種・他分野との連携が求められている。
- ・CASEは、ハード面での自動車の物理的変化とともに異業種を交えたモビリティサービスの重要性を示唆する新たなキーワード。
- ・移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段として、各地でMaaSの取り組みが進められている。

■ CASE



- C : Connected (コネクテッド)
- A : Autonomous (自動運転)
- S : Shared & Services (シェアリングとサービス)
- E : Electric (電動化)

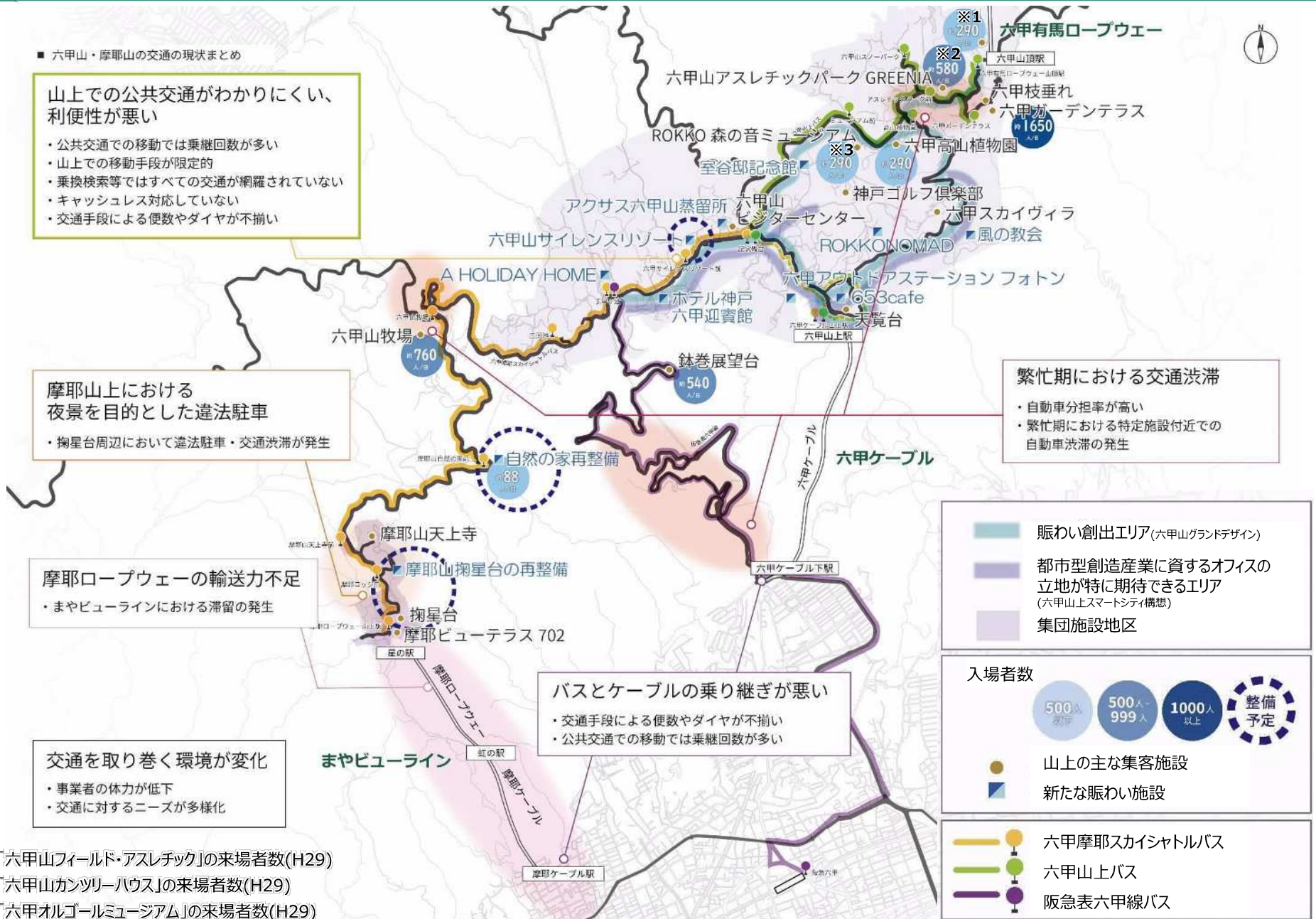
資料：NTTファシリティーズHP

■ MaaS



資料：日本版MaaSの推進（国土交通省）

4-4 まとめ（公共交通の動向）



5. 六甲山・摩耶山の交通のあり方の方向性

5-1 六甲山・摩耶山における交通施策の取組方針

5. 六甲山・摩耶山の交通のあり方の方向性

六甲山・摩耶山を取り巻く環境

- ・ 山上施設への来場者数は増加傾向
- ・ 六甲山～摩耶山を周遊する人は少ない
- ・ 山上の活性化を目指した計画や各種取り組みが進められており、今後、更なる山上への来訪需要増加が見込まれる

- 増加が見込まれる将来需要に対応した交通体系が必要
- 山上活性化には周遊促進が重要な要素

対応が求められる交通の問題点

- ◇ 自動車分担率が高い
- ◇ 繁忙期における特定施設付近での自動車渋滞の発生
- ◇ 掬星台周辺において違法駐車・交通渋滞が発生
- ◇ 交通手段による便数やダイヤが不揃い
- ◇ まやビューラインにおける滞留の発生
- ◇ 公共交通での移動では乗継回数が多い
- ◇ 山上での移動手段が限定的
- ◇ 乗換検索等では全ての交通が網羅されていない、またキャッシュレス対応していない

交通に関する動向

- ◇ バス事業者の課題に対応した交通体系が必要
- ◇ 多様化するニーズに対応した交通体系が必要

取組み方針

自動車交通量の抑制

取組方針1 渋滞解消に向けた自動車交通量の抑制

- ・ 自動車交通量の抑制
- ・ 拠点となる駐車場の確保、整備

公共交通の利便性向上

取組方針2 市街地からのアクセス改善

- ・ 市街地からケーブル駅へのアクセス向上
- ・ 掬星台への輸送力強化の検討

取組方針3 エリア特性、需要に応じた交通サービスの充実

- ・ 多種多様なモビリティの導入
- ・ 六甲山～摩耶山の回遊性向上を見据えた公共交通の再編

取組方針4 交通と山上施設の連携

- ・ 交通、観光などのサービスを一体的に提供するスキーム構築
- ・ 六甲山・摩耶山の一体的な活性化を目的とした組織づくり

5-2 六甲山・摩耶山上における交通体系の将来像

5. 六甲山・摩耶山の交通のあり方の方向性

取組方針 4

交通と山上施設との連携 (MaaSなど)

- 交通、観光などのサービスを一体的に提供するスキーム構築
- ビジネス、観光、交通など、山上全体でのエリアマネジメント組織の立ち上げ

取組方針 3

エリア特性、需要に応じた交通サービスの充実

- 六甲山～摩耶山の回遊性向上を見据えた公共交通の再編
- 多種多様なモビリティの導入 (EV車両、小型モビリティ、シェアサイクル、自動運転など)

取組方針 2

市街地からのアクセス改善

- 掬星台への輸送力強化の検討
- 市街地からロープウェー・ケーブル駅へのアクセス向上

取組方針 1

渋滞解消に向けた自動車交通量の抑制

- 自動車交通の抑制 (需要に応じて、時期やエリアの限定も含む)
- 拠点となる駐車場の確保、整備

- 既存施設
- 新たな施設

